小学校５年　社会　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別			内容別		計
	思考・判断	技能・表現	知識・理解	共通問題	地理的分野	
＋10％ より高い	1	0	0	0	1	1
±10％ の範囲内	4	9	6	4	１５	１９
－10％ より低い	0	0	0	0	0	0
計	5	9	6	4	１６	２０

（２）考察

①　全体について

ア　すべての問題が設定通過率の「＋10%より高い」、「±10%の範囲内」で、学習状況は良好である。

②　成果

ア　地図を活用するための知識や地図を活用して必要な情報を収集する技能が身に付いてきている。

イ　複数の資料を比較・関連させて考える力が身に付いてきている。

③　課題

ア　世界の主な大陸と海洋や我が国の位置と領土について、地図や地球儀を活用して捉える力が不十分である。

イ　グラフの変化の様子や傾向を適切に読み取る力が不十分である。

（３）今後の指導

ア　地図と地球儀等を同時に活用することにより、世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土について広い視野から理解するための学習の充実を図る。

○ポイント［(19(20を例として］

①多様な資料や教材の準備（地図帳、地球儀、世界地図や日本地図の掛図、白地図、国旗カード、地球儀を開いて平面にした図等）

②調べたことを白地図や言葉などで表現する活動の重視

○具体例

①日本地図を掲示し、どんなことが読み取れるか考えさせる。

・日本列島の特色や我が国の位置と領土について注目させる。

・位置の表し方については、他との関係で示す方法や緯度と経度で示す方法があることを指導する。

・日本の周囲には大きな大陸や海洋、いろいろな国があることに気付かせる。

②世界地図や地球儀を使って、世界の中の我が国の位置を確認したり、そこから広げて世界の主な大陸や海洋について調べたりするなどの作業的な学習を行い、世界を大観させる。

③調べたことを白地図にまとめさせる。言葉で書き込みをしたり、色分けをしたり、国旗カードを貼り付けたりして工夫させる。

④調べたことを基に、クイズ大会などをして知識の定着や表現力の向上を図ることも考えられる。また、教師が地球儀を展開した図を示しながら質問することも有効である。

⑤我が国の位置と領土について言葉で表現する。

（例）・我が国は北半球にあり、ユーラシア大陸の東方に位置し、太平洋と日本海などに囲まれている

・南北に連なる大小の島々で構成された島国であり、大韓民国、中華人民共和国、ロシア連邦と隣り合っている

地　図

白 地 図

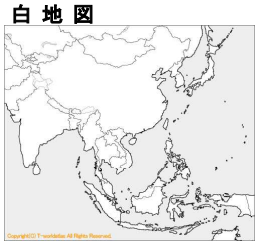
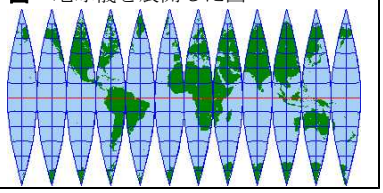


図　地球儀を展開した図



（19全国調査の関連問題、高校入試を参考　（20高校入試を参考、“問いを発する子ども”の基盤作りに資する問題

・この学習を通してねらっていることは、単に知識を獲得することではなく、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを広い視野から考えられるようにすることである。

・そのためには、我が国の位置と領土に注目させるところから始め、子どもたちが徐々に視野を広げていけるように工夫する。

・ここで学んだことを産業や歴史に関する学習などにおいても活用させていきたい。